

飯山高校

# 桂雪会報

第2号

発行日  
平成31年2月1日  
発行人  
長野県飯山高等学校  
桂雪会長 関 保典  
編集責任者 渡辺藤夫  
印刷所 (株)足立印刷所



あいさつ

同窓会・桂雪会 会長 関 保典 (飯山南・定38年卒)

11月も中旬に入り、飯山は、冬支度の準備に、野沢菜とり・大根とりの季節になりました。振り返りますと、今年の夏は暑く、生徒さんも先生方も大変でございました。秋は雨降りが続いて、稲の収穫作業に大変な年でございました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。ご健勝のことと推察申し上げます。

## はじめに

最初に自己紹介をさせていただきます。私は、6月の桂雪会総会で第二代目の会長に選出されました、関保典と申します。どうかよろしく願います。私は、飯山南高校を卒業して、大学を経て長野県の高専学校の教員になり、地元のをはじめとして県下あちこちの学校に勤務してまいりました。

学問は、日本・中国の文学・思想・哲学を勉強しました。高校の専門教科は国語でございます。飯山3高校の統合は、二段階で行われましたので第一次統合として、平成21年飯山南高校と飯山照丘高校の統合が行われ、飯山高校としてスタートしました。その時、私

は、飯山南・飯山照丘の統合・飯山高校の同窓会長でございました。平成26年 飯山北高校との統合で第二次飯山高校がスタートしました。それに伴い、時の、飯山北高校の同窓会長は、森司朗さんでしたので、平成28年、同窓会も森さんと私との責任のもとで統合いたしました。3校統合高校の同窓会は、桂雪会と命名され、桂雪会初代の会長に森司朗さんが選出されました。今年の2月、森さんが体調を崩されて、その後、私が会長代行を務めていただきました。

## 生徒数の減少

そもそも、3高校の統合は、岳北地方の生徒数の減少ということが、問題の発端でございました。私の年齢は70歳を超えまして、60年間岳北の高校の事だけを考えたものとして、現状のような生徒数になるとは夢にも

思いませんでした。かつては飯山地方に20中学校があり、中学卒業生数は1,500名ありました。戦後時代から高度成長時代を経て生徒数は減少してまいりましたが、高校への進学率の上昇があり、中学卒業生数は

700名を下ることはないと思っております。しかし700名どころではない。現在は0歳児人口が200名をきるようになりました。将来飯山の高校教育はどうなるのか悩んでいる毎日でございます。県教育委員会の高校改革の案がどのようなものが出るか注意深く見守っている段階です。高等学校というのには1学年6学級240名ぐらいの生徒を募集したいのです。それは、生徒を受け入れる先生方の人数が大切です。教員定数というのには難しい方程式があつて算出されるのですが、基本は在籍生徒数が影響します。次に生徒に示す教育課程です。現代の生徒は多様な学習要望をもっております。先生方の人数が少なければその生徒の要望に答えられないのです。また県立高校と言つても全活動の経費もすべて県費でまかなつていられるものではありません。私会計としてPTA会計・同窓会会計・後援会会計等があります。本年度平成30年度同窓会の一般会計も1,036万円あまりになつており、学校の教育に協力しております。在校生の減少は、卒業生の減少となります。そうすると今までできた協力ができないということになります。周辺の高等学校との統合問題、中等教育学校の検討、中野市・須坂市・長野市の高等学校の行方等もよく見ていかなければならないと考えております。

## 本校の使命

本校は明治36年、生活の貧しい中から、自分の子供に教育だけは受けさせたいと先人が旧制飯山中学校を誘致したことに始まりま

す。大正10年女子教育の必要性から飯山南高校が設立され、戦後昭和23年後期中等教育の普及を掲げ、飯山南高校に定時制が設置され、成長して、昭和49年飯山照丘高校の開校となりました。平成26年、3校が統合して飯山高校となりました。この歴史・経過を踏まえて、本校の使命は二つあると思います。日本を舞台に、世界に貢献できる人材育成です。これは、社会のリーダーの養成であり、学問の専門家養成の道です。もう一つは、この飯山の地に残り、自分の家・あるいは飯山という地域に生きる人材の育成です。この両方を実現する学校に成長してほしいと思っております。

## 最後に

現在、役員の間で同窓会館建設の話ができております。明治36年飯山中学校がはじまつた当時に、長野県内には旧制中学校が7校ありました。現在それらの学校はみんな高校として存在しているのですが、それらの旧制中学校にはみんな同窓会館があるのです。本校の出发点は旧制飯山中学校にはじまるわけですから、他校にあるものは我が校にも欲しいというのが気持ちだと思います。しかし、これは経費もかかり、維持費もかかります。皆様からの考えをお寄せいただき、十分に討議して納得していただいた上で進めたいと思っております。最後になりましたが会員のみなさま方のご健勝・ご多幸を祈念申し上げ、学校の益々ご隆祥を祈念してあいさついたします。



## 平成生まれの飯山高校のさらなる飛躍を願う

校長 林 秀徳

新年、明けましておめでとうございます。桂雪会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。本年度より学校長を務めます林秀徳でございます。桂雪会の皆様には日頃から本校の教育活動に対して、並々ならぬご支援ご理解を賜り御礼申し上げます。

少子化と高校生の多様な学び等の課題に対応するために、平成19年度に一次統合として、飯山照丘高校と飯山南高校が統合され飯山高校が開校しました。その後、二次統合として飯山高校と飯山北高校が平成26年度に統合し「飯山高校」となりました。そして、新校舎が完成し、平成28年4月をもって完全統合となり、平成30年度で完全統合三年目となりました。

本校は、文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の2期目（H28～31）の指定を受け、「課題発見力」や「高い志と豊かな創造性」を育むことに取り組んでいます。また、長野県教育委員会から「ICTを活用した確かな学力事業」の指定を受け、タブレットパソコン（40台）と全てのホームルーム教室には電子黒板が整備され、主体的・対話的で深い学びや高大接続改革に対応するためICTを活用した授業の推進をしています。今年度は192名（普通科82名 探究

科81名 スポーツ科29名）が入学しました。今年度入学生は普通科が1クラス少ない2クラスとなり、1学年は5クラスとなり全校で17クラス、全校生徒650名でスタートをきりました。この旧第1通学区は平成2年のピーク時には721人であった中学校卒業生数が平成20年には384人まで減少しました。平成30年には265人、そして平成42年には199人まで減少する見込みであり、県全体の減少率と比較しても減少が著しい地区であり、学校規模のさらなる縮小が想定されます。完全統合したばかりの飯山高校ですが、この地区の今後の急激な少子化の進行を考え引き続き地域の高校の将来像を考えていく必要があります。中学生の、そして地域の皆さまの期待に答えることができる学びの場の確保に向けて、桂雪会の皆さまの建設的なご意見をいただければ嬉しく思います。さて、桂雪会の皆様には、物心両面で数えきれないほど様々なご支援をいただいているわけですが、とりわけ今年度は以下の三点の事業に深く感謝申し上げます。

ひとつは、校歌碑のプレートです。スポーツ科棟南側の擁壁面の飯山高校の校歌碑のプレートの隣に飯山北、飯山南、飯山照丘それぞれの校歌碑のプレートを設置していただきました。四校の校歌碑が並ぶことで本校の統合の様子を生徒も地域の方も垣間見ることができるようになりました。二つめは、飯山北高校の百周年記念事業で購入していただいたマイクロバスの買い替えです。長年の使用で錆びが生じ、傷んでおり、今年度中の買い替えが課題となっておりましたが、桂雪会マイクロバス会計のご支援で買い替えが実現することになりました。

三つめは、エアコンです。エアコンとあまり縁がなかった長野県の学校にも、異常なこの夏の暑さのため、二年計画で教室にエアコンの設置を行うことが決まりました。本校の場合は、以前に同窓会で教室にエアコンを設置していただいたために、この夏の暑さのなかでも生徒は快適に学習することができ、猛暑を乗り越えることができました。お陰様で本校はこの夏に熱中症で緊急搬送した生徒もなく、ひと夏を送ることができました。他校に先駆けた早い段階でエアコンを設置していただき本当にありがとうございました。

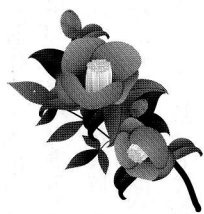
三校の高校が飯山高校に統合された飯山地域にとっても激動の時代であった平成が終わります。桂雪会の皆様には今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願いをし、桂雪会がますます発展することを祈念して私からのあいさつとさせていただきます。

## 桂雪会同窓会名簿について

飯山高校が完全統合し3年が経ちました。それぞれの学校の歴史を背負い、地域を担う学校として新たな歩みを進めています。3校の統合により、同窓会も統合し「桂雪会」として活動をつづけていきます。活動を続けていく上で、2年かけて桂雪会の組織をつくってききました。その中で名簿作成の提案がなされ、完全統合を機に、3校をまとめた同窓会名簿を作成することになりました。過去に各校で同窓会名簿を作成してはありますが、今回再調査して、最新の情報の同窓会名簿を作成します。この同窓会名簿を作成するにあたり、「株式会社サラト」と契約しました。2021年を目標に同窓会名簿の作成を「サラト」と一緒に作っていきたいと思います。

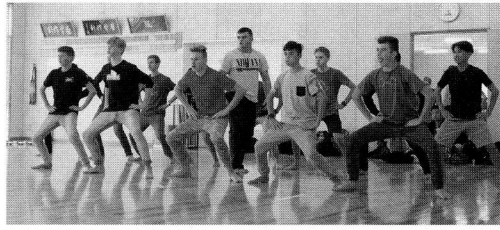
この同窓会名簿をきっかけに、飯山高校を3校の母校と考えていただき、同窓生が1つになり、同窓会の発展に協力していただけたらと考えています。同窓会の活動が活発になることにより、飯山高校のさらなる活躍の力になれると思います。

これからも飯山高校を同窓生の皆様には応援しただけではなく、と思っています。



## ◎ニュージーランドより高校生15名来校

4/18(金)、飯山市を訪問していたニュージーランドのロズミニ高校(オークランド近郊)の高校生15名が来校し、英語部・剣道部の活動に参加し、部員たちと交流をしました。剣道場では、ラグビーの名門オールブラックス風のパフォーマンスを披露してくれました。



# 学校の様子

## ◎【1・2年スポ科が臨海実習】

7/11(水)～13(金)、1・2年スポーツ科学科の臨海実習が、石川県七尾市のマリパーク及び勝雄崎キャンプ場で行われました。泳法のほかにライフセーバー実習、ボート操作実習、救急法実習なども行われ、最終日には4kmの遠泳に挑戦しました。海釣りや花火など楽しいイベントもあり充実した3日間でした。



## ◎秋空のもと、第35回強歩大会

10/12(金)、全校生徒が参加する第35回強歩大会が開かれました。前日からの雨もあがり曇天の中をスタート。第2グラウンド堤防から千曲川左岸を走り、柏尾橋を渡り、瑞穂地区を抜け、中央橋を渡り、城北グラウンドにゴールする約18kmのコース(男女同じ)に挑戦しました。女子は祖父江凜さん、男子は高藤陽樹くんがトップでゴールイン。2カ所の関門(チェックポイント)にはバナナや飲み物が用意され、ゴール後にはPTA有志の方々(約60名)によるあったかい特製豚汁が振る舞われました。



## ◎飯高生と県議会議員が意見交換

県民に開かれた県議会をめざすことを目的に参加者と意見交換する「こんにちは県議会です」が、12/18(火)、本校大講義室で開催されました。来校されたのは鈴木清議長・小林東一郎副議長のほか、地元選出の宮本衡司議員・丸山栄一議員ら県議会議員9名と議会事務局のみなさん。飯高生からは2年生29名が参加し、議員のみなさんを含めた4つの班に分かれ、「北信濃の観光について」「今後の飯山・中野地区の高校再編について」「長野県内の新たなスポーツ施設の設置及び現状の施設の改修について」「外国人労働者の長野県受入れについて」「過疎地域のさらなる過疎化にブレーキをかける方策について」のテーマについて、グループディスカッションを行いました。飯高生も積極的に発言し、活発な意見交換がなされました。会場には地元市町村関係者や一般市民の皆さんも傍聴に訪れ、各テーブルでの議論に耳を傾けていました。参加された県議さんからは、「高校生がこんなに地域のことを考えていることに驚いた。若い人たちの意見を積極的に取り入れていきたい。」などの感想が聞かれました。参加した生徒のひとりも、「積極的に参加できた。飯山市議会の皆さんとも意見交換をしてみたい」と語ってくれました。



## ◎野球部、センバツ「21世紀枠」の県推薦校に

来春の第91回選抜高校野球大会の「21世紀枠」の長野県推薦校に本校の野球部が選ばれ、11/16(金)、大講義室で表彰式が行われました。式には1・2年生の野球部員39名が出席、山崎宏県高野連会長から大川陸主将に表彰状が授与されました。日本有数の豪雪地帯にあり、4月中旬までグラウンドが使用できないという厳しい環境の中で、県大会ベスト8まで勝ち進んだことが評価されたもので、2007年(飯山・飯山南)・2010年(飯山北)について3回目の受賞となりました。「21世紀枠」については、このあと北信越地区で1校に絞られ(全国で9校)、さらにその中から3校が甲子園の切符を手に入れるという狭き門です。残念ながら21世紀枠には福井県の金津高校に決定しました。





# 支部活動リポート 東京・関東支部だより 平成三十年度 桂雪会東京・関東支部総会報告

高橋 彰(飯山北24卒)

前日の雨から一転快晴の11月10日(土)、桂蔭会から桂雪会に移行後初の桂雪会東京・関東支部総会を、東京・桜田門の「法曹会館」で開催した。会場には早くから懐かしい顔が集まり、「やあ、久しぶり」の声があちこちで聞かれた。

副支部長の阿部靖典氏(高31)の進行のもと、青井(旧姓岡村)富雄支部長(高19)の開会挨拶で始まり、来賓としてお出で頂いた桂雪会本部の関保典会長からは「今年度から会長を仰せつかった。桂雪会は北高、南高、照丘高そして統合した飯山高校の同窓会であるが、名簿整理を含め全体の整備は始まったばかりでこれから大切な時期。協力をお願いしたい。」との挨拶があった。

また、飯山高校の林秀徳校長先生からは「生徒は学業、クラブ活動ともに頑張っている。特にスキー部は今年度、男女ともにインターハイ優勝が期待できる。残念ながら生徒数は減少し、今年の一年生は5クラスになった。」との現状を報告して頂いた。

続いて総会議題に入り、副支部長の高橋(高24)から、本部の活動報告、新役員体制、生徒の現状を報告し、また支部活動として今回の総会案内は対象者790名に直接送付したこと、飯山高校ホームページに開催概要を掲載したことを報告した。青井支部長からは桂雪会としての支部規約の制定を説明した。さらに、阿部副支部長から会計報告、会計監査の中島謙次氏(高41)

から会計監査報告があり、活動報告、支部規約制定、会計報告ともに拍手で承認された。

講演会は、「食料が危ない！肥料と環境資源循環を考える」と題して、九州大学客員教授の宮本操氏(高22)から、食料に不可欠なリンが今後世界的に枯渇状況になっていくという身に迫る切迫した現状が報告された。衝撃的な話であり、会場全体、真剣な表情で聞き入っていた。

会場を移して開かれた懇親会は、新たに作成した「桂雪会東京・関東支部総会」の横断幕の下、山城弘枝氏(高57)の澆測とした司会で進められた。最年長の池川信夫氏(中37)からは「池川・大沼・沼田基金への協力をよろしく」との挨拶があり、続いて大沼淳氏(中39)の飯山を愛する思いを込めた挨拶と乾杯で、和やかな懇親の集いが始まった。

それぞれのテーブルでは、互いの近況報告や北高時代の数々の思い出話に大いに花が咲き、さらにテーブルを越えた交わりで会場は次第に割れんばかりの話の渦となった。後半は、今回初参加者



の自己紹介があり、ホームページで総会を知り参加したとの報告もあった。

懇親会も最高潮に達して恒例の校歌斉唱となり、会場いっぱい胸を詰まらせながら、飯山北高校歌「甲斐の高峰に」が高らかに歌い上げられた。

最後は今回初参加で最若手の武田良介氏(高50)の万歳三唱で閉会し、互いに惜しみながら再会を誓って散会した。

桂雪会となつて最初の東京・関東支部総会は、ホームページで呼びかけたものの残念ながら北高卒業生以外の参加には至らなかったが、今後とも北高以外の校歌も歌える場となるよう、本部とも連携しながら同窓生の参加拡大を目指していきたい。

## 「池川・大沼・沼田基金」の発足と飯山フォーラムの開催

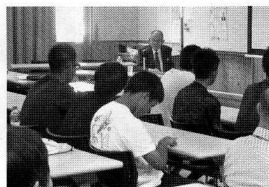
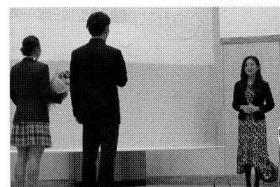
平成30年5月18日(金)14時30分から飯山高校大会議室において、「池川・大沼・沼田基金発足」の記者会見を行いました。この基金は、池川信夫(東京工業大学名誉教授)、大沼淳(文化学園理事長)、沼田克雄(故人)の3人が発起人となり、飯山や周辺地域での人材育成や地域活性化を目的として設立したものです。企業や個人に参加を呼びかけ、中高生や住民

を対象にした講演会の開催や論文募集などを進める計画です。

すでに、飯山フォーラムと称し、8月3日(金)にキッコーマン名誉会長



に、11月1日(木)にはマブチメデイカルクリニック院長馬淵知子氏を講師に招き講演会を実施しました。茂木友三郎先生には「人材育成こそ国の礎」というテーマで、グローバル時代の人材育成について語っていただきました。第2回の講演会は、飯山高校のSSH講演会と共催で行い、「健康への挑戦〜新しい医学の取組み〜」というテーマで全校生徒を含め700名以上の参加者を得て開催することができました。第3回の講演



【平成30年度支部役員】	
顧問	長坂 邦彦(飯山北6)
	岡田 庸利(飯山北8)
支部長兼本部代議員	青井 富雄(旧姓岡村)
	(飯山北19)
副支部長兼本部副会長	高橋 彰(飯山北24)
副支部長兼会計	阿部 靖典(飯山北31)
会計監査	中島 謙次(飯山北41)
世話人	山城 弘枝(飯山北34)
	六川 裕幸(飯山北34)
	藤好しのぶ(飯山北44)

## 生徒の活躍紹介

### 祖父江 凜 (3-6)

現在3年生でスポーツ科学科として活躍している祖父江選手。先日行われた全日本クロスカントリー音威子府大会で優勝、1月21～26日にかけてフィンランドのラハチで行われたノルディックジュニア世界選手権の日本代表として選出され出場しました。結果はスプリント競技53位、5kmフリー55位、15kmクラシカルマスタート39位でした。

世界のレベルの高さを感じ、更なる飛躍を誓っていました。今後の活躍に期待したいです。



### 宮崎彩音 (1-5)

FIS(国際スキー連盟)のホームページより

#### Ayane Miyazaki

For 16-year-old Miyazaki, the competition in Otepää were the first on the international level this year after sitting the U.S. leg of the Ladies' Continental Cup out. But the way last year's Continental Cup runner-up returned to a growing field of 25 international athletes was nothing short of impressive: a second and a third place had her standing on the podium twice.

What is remarkable about soft-spoken, quiet and almost shy Miyazaki is an iron will and the ambitiousness that marks a truly great athlete which she displayed when asked about her performances in both press conferences. Yes, she was happy with her podium results but also disappointed that she wasn't able to match Geraghty-Moats, an athlete nine years her senior and with experience from competing internationally in four disciplines, yet.

But anyone following Ladies' Nordic Combined, now and in a few years, should not forget that well-balanced Miyazaki, who shines with strong jumping performances and can follow these up with equally strong skiing results is a contender for future greatness.

アメリカでの女子コンチネンタルカップには参加しなかった16歳の宮崎は、オテパー（エストニア）で、今年最初の世界レベルでの競技に参加しました。昨年のコンチネンタルカップ準優勝者（2位と3位で表彰台）である彼女が、この成長する競技の25人の世界的競技者たちと競う姿は鮮烈な印象を残しました。

物腰が柔らかく、静かで、恥ずかしがり屋でもある宮崎の固い意志と競技に対する意欲は注目すべきです。彼女が本当に素晴らしい選手であることは、2度の記者会見で、競技の結果について聞かれた時の応答にも見て取れます。彼女は表彰台に上がったことには満足していましたが、9歳年上のタラ・ジェラフティー＝モッツと国際的な舞台で競ったことがないことを残念がっていました。

この先、女子ノルディックコンバインドに注目する人は、強いジャンプとスキーで輝き続けるバランスの取れた宮崎を未来の大選手として心にとどめておくべきです。  
(英語科より翻訳)

\*1月23日に行われた世界ジュニア選手権では見事優勝しました。

Saturday, Jan 5, 2019

- Nordic Combined
- L Otepaa (EST)

RankNameNat.Results

1	Tara	GERAGHTY-MOATS	USA	14:05.1
2	Ayane	MIYAZAKI	JPN	14:58.1
3	Gyda	WESTVOLD HANSEN	NOR	15:33.5

Sunday, Jan 6, 2019

- Nordic Combined
- L Otepaa (EST)

RankNameNat.Results

1	Tara	GERAGHTY-MOATS	USA	14:16.9
2	Lisa	HIRNER	AUT	14:40.4
3	Ayane	MIYAZAKI	JPN	14:42.8



平成30年(2018年)7月27日(金)の午前中に、「飯山北・飯山南・飯山照丘」3校の校歌碑が埼玉県川口市の一粒芸芸さんによって設置されました。設置場所は、スポーツ科学科棟南側の擁壁で、1年前に設置された田井安曇氏歌碑・飯山高校校歌碑の西側です。

飯山高校の校歌碑を設置した際に、前会長森司朗さんが「桂雪会として飯山北の校歌碑を設置すればよかった」とおっしゃったことをきっかけに、3校の校歌碑の設置が検討されました。

折しも、飯山北高校昭和51年3月卒業の還暦同期会が計画されており、そこで校歌碑設置の計画を紹介したところ13万8千円の寄付金が集まりました。また、飯山北高校昭和49年3月卒業の5組の有志の方々からは

### 「飯山北・飯山南・飯山照丘」3校の校歌碑設置

会は滝沢杏弥氏(モデル、女優、および指導者)を招き、美の創造というテーマで開催する予定です。

基金の主催する飯山フォーラムは桂雪会と協力関係を維持しながら、独自に運営を進めていく方針です。毎回一般の方々にも公開しておりますので、同窓生の皆さんにも是非ご参加をお願いいたします。

なお、趣旨に賛同し、基金にご寄付いただける方は、下記の口座に振り込みをお願いいたします。

〔指定口座〕ゆうちょ銀行  
00570-4-103253  
(口座記号 - 口座番号)  
池川・大沼・沼田基金  
～1口5千円からです～



1万4千円、昭和59年3月卒業学年の方々からは16万3千円の篤志をいただき計31万5千円が寄せられました。設置費用や飯山南、飯山照丘の校歌碑の費用は桂雪会の会計から支出していただき、3校の校歌碑の完成に至りました。校歌碑はステンレス製で銀色に輝き、落ち着きと品格を感じます。飯山高校校歌と比べていただながら高校生の当時に想いを馳せていただければ幸いです。除幕式等は開催いたしませんでしたが、校歌碑の存在は3校統合の歴史を示すものとして後世に残っていくものと思います。ご協力をいただいた皆様にご感謝申し上げます。

### ようやく桂雪会ホームページの開設なる

かねてからの懸案事項であり、総会でも指摘され、開設が急がれていた桂雪会のホームページが2月に開設される予定です。同窓会関係の情報発信や現在の母校の様子等を知る為には、必要欠くべからざるものとして早期の開設実現を求められてきましたが、ようやく開設のめどが立ってまいりました。

事務局の運営は学校の教員が行っており、校務多忙化の折、なかなかホームページ作成が進まずに時間が過ぎてしまいました。遅くなりましたことお詫び申し上げます。サイトは「桂雪会」で検索していただくが見つかりますし、飯山高校の公式サイトからもリンクしておりますので一度ご覧ください。また、スマホ用のサイトも開設する予定です。ご利用ください。内容についても少しずつ充実させ、更新していき

## 平成 30 年度桂雪会役員

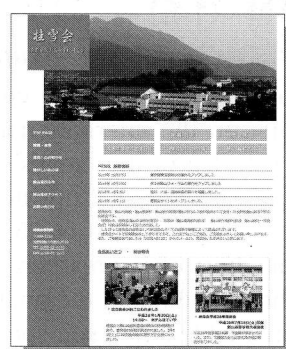
決定している支部のみ掲載（平成 30 年 5 月現在）

職名	氏名
顧問	池川 信夫
顧問	大沼 淳
顧問	岩崎 彌
顧問	猪瀬 清徳
顧問	森 司朗
顧問	林 秀徳
会長	関 保典
副会長	宮本 衡司
副会長	内山 英樹
副会長	高橋 彰
副会長	瀧澤 俊實
副会長	吉越 英子
副会長	上松 猛
副会長	小林 厚子
副会長	太田 良夫
監事	岡田 敬幸
監事	上松 敬

副会長 吉越 明人  
学校関係

校長	林 秀徳
教頭	清水 久樹 スクールバス
事務長	箕口 徳夫 会計
幹事	渡辺 藤夫 事務局長・総務・支部組織化・広報 (HP)・教育環境整備・桂雪アカデミー
幹事	小林 幸太郎 事務局次長・総務・支部組織化・名簿作成・マイクロバス・教育環境整備
幹事	丸山 大樹 総務・会報・広報 (HP)・教育環境整備・生徒助成・クラブ支援
幹事	野口 貴登 会報・教育環境整備・生徒助成・クラブ支援
幹事	井出 哲人 広報 (HP)・庶務

飯山支部	支部長	上松 永林
	副支部長	横川 莊一
	副支部長	村石桂太郎
秋津支部	支部長	島田 和彦
	副支部長	森山 善司
	副支部長	丸山 朗
木島支部	支部長	関 藤夫
	副支部長	澤木 伸一
瑞穂支部	支部長	増山 保範
	副支部長	岩松 義雄
柳原支部	支部長	佐藤 正夫
	副支部長	木幡喜美子
外様支部	支部長	春日 早夫
	副支部長	春日 隆
常盤支部	支部長	平野 正幸
	副支部長	
太田支部	支部長	青木 彰
	副支部長	庚 繁樹
岡山支部	支部長	井沢 清一
	副支部長	田中 康一
木島平支部	支部長	瀧澤 俊實
	副支部長	池田 充栄
野沢温泉	支部長	平田 幸男
	副支部長	富井 裕昭
栄支部	支部長	森川 博
	副支部長	
長野支部	支部長	武田 芳彦
	副支部長	瀧澤 国夫
須高支部	支部長	小林 守夫
	副支部長	大熊 文久
豊野支部	支部長	米木 善登
	副支部長	原田 茂
中野支部	支部長	大森 眞一
	副支部長	
豊田支部	支部長	吉岡 典高
	副支部長	小橋 浩樹
津南支部	支部長	島田 哲宏
	副支部長	
県外 (5)		
東京関東支部	支部長	青井 富雄
	副支部長	高橋 彰
	副支部長	阿部 靖典
	会計	阿部 靖典



〔飯山高校内連絡先〕  
〒389-2253  
長野県飯山市飯山 2610  
TEL 0269-62-4175

いと思います。会員の皆様からの投稿記事なども掲載してまいりたいと考えていますので、何か要望やご意見がありましたら以下に連絡いただくようお願い申し上げます。

### マイクロバス購入について

同窓会のマイクロバスも平成14年の飯山北高校100周年のときに購入してから16年経ちました。長きにわたり部活動を支えてきたマイクロバスも車体の劣化が激しくなり、修理に多額の費用がかかることがわかり、今回マイクロバスを更新しました。何社かに中古のマイクロバスを探していたが、年式や金額から、マツヤマオート

で前回のマイクロバスと同じトヨタ「コースター」を購入しました。新たなマイクロバスは飯山高校の部活動を支えてくれるでしょう。

